

公益社団法人 物理探査学会

平成30年度通常総会資料

日 時 平成30年5月29日(火)9:30～11:40

場 所 東京 早稲田大学 国際会議場 3F 第1会議室

東京都新宿区西早稲田 1-20-14

総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 総会開始の宣言
4. 議 事

決議事項

- | | |
|-------|------------------------|
| 第1号議案 | 平成 29 年度事業報告及び決算報告承認の件 |
| 第2号議案 | 平成 30 年度・31 年度役員選任の件 |

報告事項

平成30年度事業計画及び予算について

(休 憩)

5. 平成29年度 物理探査学会表彰
 - (1) 論文業績賞
 - (2) 優秀発表賞
 - (3) 学会業績賞
 - (4) 永年在籍会員表彰
6. 新・旧会長挨拶
7. 閉会の辞

第 1 号議案:平成29年度事業報告及び決算報告承認の件

I. 平成 29 年度事業報告

平成 29 年度は、本学会の目的である物理探査の学理及びその応用に係る技術の進歩、普及、並びに物理探査に携わる技術者の資質向上などを図るために、研究発表会やセミナーの開催、広報や表彰事業などの各種事業や研究会活動を活性化し、探査技術の普及促進にも注力してきました。

1. 学会事業活動

[1] 研究発表会の開催

(1) 第 136 回学術講演会

- ・開催日 平成 29 年 6 月 5 日(月)～7 日(水)
- ・開催場所 早稲田大学 国際会議場(東京)
- ・一般講演 口頭発表 76 件, ポスター発表 16 件
- ・学会賞受賞講演
 - 「地表ソース型時間領域空中電磁法 (GREATEM) これまでとこれから」
茂木 透(北海道大学 工学研究院)
 - 「比抵抗と地中レーダーのデータを併用した解釈による石造遺跡の損傷領域の識別」
尾西 恭亮(土木研究所 地質・地盤研究グループ)
- ・参加者 262 名

(2) 第 137 回学術講演会

- ・開催日 平成 29 年 11 月 8 日(水)～11 月 10 日(金)
- ・開催場所 東京工業大学(神奈川)
- ・一般講演 口頭発表 67 件, ポスター発表 9 件
- ・特別講演
 - 「リモートセンシング画像から観た 2016 年熊本地震の地盤変位と建物被害」
松岡 昌志(東京工業大学 環境・社会理工学院)
 - 「進化計算によるブラックボックス最適化」
小野 功(東京工業大学 情報理工学院)
- ・参加者 148 名

[2] 会誌, 書籍の編集発行等の事業

(1) 和文会誌発刊

和文誌「物理探査」は電子化に完全移行し、J-Stage で閲覧するようにした(掲載後 2 年間は会員限定公開)。また、掲載された 1 年分の論文についてまとめたものを冊子として発行し、予約販売した。

(2) 英文会誌発刊

豪州物理探査学会(ASEG)・韓国物理探査学会(KSEG)との共同で出版する英文誌「Exploration Geophysics」について 4 号(電子版)を発行した。

(3) 「物理探査ハンドブック増補改訂版」の増販

昨年度出版した「物理探査ハンドブック増補改訂版」の冊子の初版が売り切れたので、増刷して販売を継続した。

(4) 技術資料等の頒布

既存の以下の技術資料等の出版物を継続して頒布した。

- ・物理探査ハンドブック増補改訂版 冊子 55 冊, CD 31 枚

・旧版物理探査適用の手引き(英文)	5冊
・最新の物理探査適用事例集 冊子・CD (最新の物理探査適用事例集は売り切れとなり、今後は販売しない予定)	20冊
・新版物理探査適用の手引き 冊子・CD	51冊
・会誌「物理探査」 DVD(第1巻～第60巻)	3冊
・学術講演会論文集 DVD(第43回～第118回)	3冊
・国際シンポジウム論文集 DVD(第1回～第8回)	2冊
・地下を診る技術～驚異の物理探査～	59冊

[3] 研究開発, 調査, コンソーシアム活動等の事業

(1) 研究会活動

- ・地震防災研究会では平成29年7月14日(金)に東京工業大学において講演会を開催した。
- ・ドローン物理探査研究会を立ち上げ、委員を公募して活動を開始した。

(2) 研究委員会活動

- ・統合物理探査調査研究委員会を開催し、委員会報告書を取りまとめ、公開した。
- ・強震動地盤モデル作成を対象とした物理探査成果書式、地盤モデルデータ構造検討委員会を開催し、関連する物理探査成果の書式化、三次元地盤モデルの書式化について検討した。
- ・PS検層技術委員会を開催し、検討を進めた。

(3) 委託研究

- ・「耐震設計に用いる地盤調査に関する研究」についてPS検層研究委員会委員を主体に実施し、PS検層技術について具体的なフィールドで研究を行った。〔独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構(委託研究費9,731,880円)〕

[4] 講座, セミナーの開催, 関連学協会との協力等の事業

(1) 物理探査セミナー

- ・開催日 平成29年7月4日(火)～7月6日(木)
- ・開催場所 東京大学
- ・参加者 67名

(2) ワンデーセミナー

- ・開催日 平成30年2月13日(火)
- ・開催場所 公益財団法人 日中友好会館 B1 大ホール
- ・テーマ AI技術と物理探査
- ・参加者 106名

(3) キャンパスビジット

平成29度は、タイトルを「地球のお医者さん～物理探査～の最先端」として2回開催した。

- ① 開催日：平成29年6月26日(月), 開催場所：北海道大学, 参加者40名
- ② 開催日：平成30年1月11日(木), 開催場所：千葉大学, 参加者14名

(4) 関連学協会との連携・協力

① 国内関連学協会

(公社)日本地球惑星科学連合, (一社)資源・素材学会, (一社)日本リモートセンシング学会, 日本地熱学会, (公社)日本地震学会, (一社)日本応用地質学会, (公社)地盤工学会, (公社)計測自動制御学会, 石油技術協会と講演会等で相互に協力した。

② 日本地球惑星科学連合大会

日本地球惑星連合大会 JpGU-AGU Joint Meeting 2017 における三つのセッション「空中からの地球計測とモニタリング」, 「浅層物理探査」, 「Enhancing Scientific and Societal

Understanding of Geohazards in an Engaged Global Community」への共催、および学協会デスクスペースでのブース展示を行った。

③ 日本応用地質学会と連携

日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会主催研究発表会を共催、参加した。

開催日：平成 29 年 6 月 16 日（金）

開催場所：土木研究所寒地土木研究所

参加者 67 名

④ 地盤情報電子データ標準化小委員会

地盤情報電子データ標準化小委員会に委員を派遣し、物理探査成果の電子データ化の検討を行い、物理探査成果電子納品要領原案をとりまとめた。

⑤ 海外関連学会

下記関連国際学会の講演会・年次総会に参加して国際交流を深めると共に、国際レベルの物理探査技術を会誌、ホームページ等を通じて紹介した。

- ・欧州物理探査学会 (EAGE)
- ・米国物理探査学会 (SEG)
- ・環境土木物理探査学会 (EEGS)
- ・豪州物理探査学会 (ASEG)
- ・韓国物理探査学会 (KSEG)
- ・中国石油物理探査学会 (SPG China)
- ・ベトナム物理探査学会 (VGA)
- ・インドネシア物理探査学会 (HAGI)

⑥ SEG 教育プログラムの開催支援

海外の関連学会 SEG が主催し、日本国内で実施する下記の物理探査技術の教育・普及活動に対して参加者の募集、会場の運営等、その支援を行った。

- ・SEG 2017 Distinguished Lecture

今年度は東京だけでなく、全国 5 か所で開催された。東京では 48 名が参加した。

演題：A Hitchhiker's Guide to Geophysics

講師：Koya Suto (Terra Australis Geophysics)

開催日および開催場所：

5 月 15 日；札幌・北海道大学

5 月 16 日；福岡・九州大学

5 月 18 日；名古屋・名古屋大学

5 月 19 日；東京・東京大学

6 月 19 日；秋田・秋田大学

- ・SEG 2017 Distinguished Instructor Short Course (DISC)

今年度は東京だけでなく、京都でも開催された。

演題：Electromagnetics Fundamentals and Applications

講師：Doug Oldenburg (University of British Columbia)

開催日および開催場所：

6 月 22 日；京都・京都大学桂キャンパス、参加者 14 名

6 月 26 日；東京・早稲田大学西早稲田キャンパス、参加者 35 名

(5) 技術士継続教育活動

平成 29 年度も関係 7 学協会と連携して生涯学習支援システムの共同運営を継続し、会員の技術士継続教育活動をサポートした。

[5] 物理探査に係る広報活動事業

(1) 物理探査ニュース

「物理探査ニュース」No. 34 から No. 37 の 4 巻の発行を行い会員に配布した。また、一般向けに 2017 年ハイライト（総集編）の発行を行った。

(2) ホームページ

学会ホームページを見易くするために大幅な改訂作業を行った。また、WEB を通じて広報に係る活動を実施した。

[6] 物理探査学に係る研究、活動に対する表彰事業

平成 29 年度通常総会において、平成 28 年度物理探査学会表彰を行った。

(1) 物理探査学会賞

① 論文賞

・受賞者 : Sabry Abd Allah, 伊藤 久敏, 茂木 透, 城森 明, 結城 洋一, 海江田 秀志, 鈴木 浩一

・対象論文:

1) Sabry Abd Allah, Toru Mogi, Hisatoshi Ito, Akira Jomori, Youichi Yuuki, Elena Fomenko, Kenzo Kiho, Hideshi Kaieda, Koichi Suzuki and Kazuhiro Tsukuda (2014): Three-dimensional resistivity modelling of grounded electrical-source airborne transient electromagnetic (GREATEM) survey data from the Nojima Fault, Awaji Island, south-east Japan. *Exploration Geophysics*, 45(1), 49-61.

2) Hisatoshi Ito, Hideshi Kaieda, Toru Mogi, Akira Jomori and Youichi Yuuki (2014): Grounded electrical-source airborne transient electromagnetic (GREATEM) survey of Aso Volcano, Japan. *Exploration Geophysics*, 45(1), 43-48.

② 事例研究賞

・受賞者 : 尾西 恭亮, 杉本 芳博, 岩崎 好規

・対象論文:

Kyosuke Onishi, Tomochika Tokunaga, Yoshihiro Sugimoto, Naoyuki Yamada, Mohamed Metwaly, Katsuro Mogi, Ichita Shimoda and Yoshinori Iwasaki (2014): Identifying damaged areas inside a masonry monument using a combined interpretation of resistivity and ground-penetrating radar data. *Exploration Geophysics*, 45(3), 177-188.

③ 奨励賞

該当なし

(2) 優秀発表賞

① 第 134 回春季学術講演会

- ・口頭発表-最優秀発表賞: 丸山 純也
- ・口頭発表-優秀発表賞: 佐藤 真也, 新部 貴夫
- ・ポスター発表: 黒川 雅裕

② 第 135 回秋季学術講演会

- ・口頭発表-最優秀発表賞: 斎藤 秀雄
- ・口頭発表-優秀発表賞: 新色 隆二, 佐藤 真也, 吉川 友哉
- ・ポスター発表: 池田 啓介

(3) 永年在籍会員表彰

① 在籍 30 年以上，満 70 歳以上

齋藤 章，齊藤 猛，竹内 睦雄，徳山 英一，西ヶ谷 修，藤原 八笛，吉岡 修，
吉田 庄太

② 50 年在籍賛助会員

地質計測株式会社

③ 30 年在籍賛助会員

株式会社日さく

[7] その他目的を達成するために必要な事業

学会の活性化を図るため継続して学会業務の I T 化を推進すると共に，学会ホームページの維持管理を行った。

2. 学会の経営・運営に関する会議の開催

[1] 通常総会

平成 29 年 6 月 6 日(火)，東京，早稲田大学国際会議場 井深大記念ホールにて開催した。

[2] 理事会

下記のとおり理事会を開催した。

第 88 回理事会	平成 29 年 4 月 28 日	物理探査学会会議室
第 89 回理事会	平成 29 年 7 月 25 日	物理探査学会会議室
第 90 回理事会	平成 29 年 10 月 23 日	物理探査学会会議室
第 91 回理事会	平成 30 年 1 月 25 日	物理探査学会会議室

3. 会員状況

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	増 減
名誉会員	22 名	21 名	1 名減
正会員	1150 名	1155 名	5 名増
(学生会員)	(53 名)	(61 名)	(8 名増)
賛助会員	107 社 222 口	110 社 225 口	3 社・3 口増

正会員数には()内の学生会員数を含む

以上

I. 平成 29 年度決算報告

貸借対照表

平成30年 3月31日現在

公益社団法人 物理探査学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,514,335	16,359,264	4,155,071
売掛金	0	89,660	△89,660
未収金	9,731,880	11,199,475	△1,467,595
棚卸資産	4,907,772	3,362,671	1,545,101
仮払金	0	97,000	△97,000
流動資産合計	35,153,987	31,108,070	4,045,917
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益目的運用特定資産	21,000,000	21,000,000	0
技術普及積立資産	1,400,000	0	1,400,000
特定資産合計	22,400,000	21,000,000	1,400,000
(2) その他固定資産			
敷金	660,000	660,000	0
その他固定資産合計	660,000	660,000	0
固定資産合計	23,060,000	21,660,000	1,400,000
資産合計	58,213,987	52,768,070	5,445,917
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,032,744	1,171,957	1,860,787
未払費用	0	200,000	△200,000
前受金	58,860	0	58,860
前受会費	71,780	31,500	40,280
預り金	157,195	88,561	68,634
未払消費税等	504,700	76,000	428,700
流動負債合計	3,825,279	1,568,018	2,257,261
負債合計	3,825,279	1,568,018	2,257,261
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	54,388,708	51,200,052	3,188,656
(うち特定資産への充当額)	(22,400,000)	(21,000,000)	
正味財産合計	54,388,708	51,200,052	3,188,656
負債及び正味財産合計	58,213,987	52,768,070	5,445,917

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,097	3,177	△ 1,080
受取会費	13,169,200	12,296,550	872,650
正会員会費収入	8,689,200	7,766,550	922,650
賛助会員会費収	4,480,000	4,540,000	△ 60,000
事業収益	20,904,600	25,285,822	△ 4,381,222
開催事業収入	7,553,520	5,843,880	1,709,640
受取投稿料	306,720	783,000	△ 476,280
頒布事業収入	3,312,480	7,459,467	△ 4,146,987
受託事業	9,731,880	11,199,475	△ 1,467,595
受取補助金	65,000	148,000	△ 83,000
受取寄付金	1,703,717	1,350,480	353,237
一般寄付金	1,703,717	1,350,480	353,237
雑収入	233,845	776,029	△ 542,184
経常収益計	36,078,459	39,860,058	△ 3,781,599
(2) 経常費用			
事業費	31,009,687	37,296,484	△ 6,286,797
給料手当	5,251,344	5,593,111	△ 341,767
臨時雇賃金	1,058,000	1,105,000	△ 47,000
退職給付費用	417,049	425,197	△ 8,148
福利厚生費	426,564	378,972	47,592
旅費交通費	2,396,517	1,857,811	538,706
会議費	1,419,148	374,516	1,044,632
通信運搬費	830,341	986,121	△ 155,780
消耗品費	1,110,826	389,214	721,612
修繕費	0	45,036	△ 45,036
印刷製本費	2,229,526	4,379,953	△ 2,150,427
光熱水料費	313,301	374,709	△ 61,408
賃借料	5,148,649	6,336,637	△ 1,187,988
保険料	8,697	8,867	△ 170
諸謝金	1,321,399	1,402,252	△ 80,853
出版物原価	1,383,035	3,845,629	△ 2,462,594
支払負担金	164,186	159,044	5,142
表彰品費	92,800	79,200	13,600
支払奨励金	0	20,000	△ 20,000
支払手数料	272,204	246,504	25,700
租税公課	451,009	370,631	80,378
委託費	6,664,175	8,821,309	△ 2,157,134
雑費	50,917	96,771	△ 45,854
管理費	1,880,116	2,961,628	△ 1,081,512
給料手当	792,656	720,889	71,767
退職給付費用	62,951	54,803	8,148
福利厚生費	64,388	48,846	15,542
旅費交通費	57,925	55,206	2,719
会議費	17,475	9,879	7,596
通信運搬費	22,485	20,603	1,882
消耗品費	105,033	37,010	68,023
印刷製本費	11,308	11,705	△ 397
光熱水料費	41,994	44,540	△ 2,546
賃借料	517,989	523,447	△ 5,458
保険料	1,313	1,143	170
支払手数料	26,043	23,812	2,231
租税公課	66,191	47,769	18,422
支払負担金	918	3,996	△ 3,078
委託費	83,761	73,206	10,555
雑費	7,686	1,284,774	△ 1,277,088
経常費用計	32,889,803	40,258,112	△ 7,368,309
評価損益調整前当期増減額	3,188,656	△ 398,054	3,586,710
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,188,656	△ 398,054	3,586,710
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	3,188,656	△ 398,054	3,586,710
法人住民事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,188,656	△ 398,054	3,586,710
一般正味財産期首残高	51,200,052	51,598,106	△ 398,054
一般正味財産期末残高	54,388,708	51,200,052	3,188,656
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	54,388,708	51,200,052	3,188,656

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,097	0	2,097
受取会費	8,824,600	4,344,600	13,169,200
正会員会費収入	4,844,600	4,844,600	8,689,200
賛助会員会費収入	4,480,000	0	4,480,000
事業収益	20,904,600	0	20,904,600
開催事業収入	7,553,520	0	7,553,520
受取投稿料	306,720	0	306,720
頒布事業収入	3,312,480	0	3,312,480
受託事業	9,731,880	0	9,731,880
受取補助金	65,000	0	65,000
受取寄付金	1,703,717	0	1,703,717
一般寄付金	1,703,717	0	1,703,717
雑収入	233,653	192	233,845
経常収益計	31,733,667	4,344,792	36,078,459
(2) 経常費用			
事業費	31,009,687	0	31,009,687
給料手当	5,251,344	0	5,251,344
臨時雇賃金	1,058,000	0	1,058,000
退職給付費用	417,049	0	417,049
福利厚生費	426,564	0	426,564
旅費交通費	2,396,517	0	2,396,517
会議費	1,419,148	0	1,419,148
通信運搬費	830,341	0	830,341
消耗品費	1,110,826	0	1,110,826
印刷製本費	2,229,526	0	2,229,526
光熱水料費	313,301	0	313,301
賃借料	5,148,649	0	5,148,649
保険料	8,697	0	8,697
諸謝金	1,321,399	0	1,321,399
出版物原価	1,383,035	0	1,383,035
支払負担金	164,186	0	164,186
表彰品費	92,800	0	92,800
支払手数料	272,204	0	272,204
租税公課	451,009	0	451,009
委託費	6,664,175	0	6,664,175
雑費	50,917	0	50,917
管理費	0	1,880,116	1,880,116
給料手当	0	792,656	792,656
退職給付費用	0	62,951	62,951
福利厚生費	0	64,388	64,388
旅費交通費	0	57,925	57,925
会議費	0	17,475	17,475
通信運搬費	0	22,485	22,485
消耗品費	0	105,033	105,033
印刷製本費	0	11,308	11,308
光熱水料費	0	41,994	41,994
賃借料	0	517,989	517,989
保険料	0	1,313	1,313
支払手数料	0	26,043	26,043
租税公課	0	66,191	66,191
支払負担金	0	918	918
委託費	0	83,761	83,761
雑費	0	7,686	7,686
経常費用計	31,009,687	1,880,116	32,889,803
評価損益調整前当期増減額	723,980	2,464,676	3,188,656
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	723,980	2,464,676	3,188,656
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	723,980	2,464,676	3,188,656
一般正味財産期首残高	21,440,000	29,760,052	51,200,052
一般正味財産期末残高	22,163,980	32,224,728	54,388,708
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	22,163,980	32,224,728	54,388,708

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準方法は、先入先出法による原価法を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税は税込み処理を行っている。

2. 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的運用特定資産	21,000,000	0	0	21,000,000
技術普及積立資産	0	1,400,000	0	1,400,000
合 計	21,000,000	1,400,000	0	22,400,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等は、一般正味財産からの充当額である。

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

6. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
学会補助金	早稲田大学	0	65,000	65,000	0	
合 計		0	65,000	65,000	0	

7. 重要な後発事象

該当なし

財産目録

平成30年 3月31日現在

公益社団法人 物理探査学会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金預金	手元保管	運転資金として	22,065	
	普通預金	//	8,961,748	
	三菱東京UFJ・大森支店	//	4,289,201	
	三井住友・大森支店	//	472,568	
	三井住友・浅草橋支店	//	182,823	
	三菱東京UFJ・大森支店	//	46,698	
	三菱東京UFJ・大森支店	//	3,249,369	
	三井住友・大森支店	//	710,559	
	三井住友・大森支店	//	10,530	
	郵便貯金			11,530,522
	岩本郵便局・普通	//	4,771,607	
	岩本郵便局・普通	//	6,746,315	
	岩本郵便局・普通	//	12,600	
未収金	受託研究開発費		9,731,880	
棚卸資産	貯蔵品・書籍在庫品を倉庫にて保管	ハンドブック, バッグ等	4,907,772	
流動資産合計			35,153,987	
(固定資産)				
特定資産	公益目的運用特定資産	定期預金		
		三井住友・大森支店	21,000,000	
	技術普及積立資産	三井住友・大森支店	1,400,000	
その他固定資産	敷金	主たる事務所資金	660,000	
固定資産合計			23,060,000	
資産合計			58,213,987	
(流動負債)				
未払金	書籍印刷・製本費 受託研究における管理費	ニュースレター等	3,032,744	
			332,744	
			2,700,000	
	前受金		58,860	
	前受会費	前納会費	71,780	
	預り金	源泉、保険料等の預り金	157,195	
未払消費税等		504,700		
流動負債合計			3,825,279	
負債合計			3,825,279	
正味財産			54,388,708	

付属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2に記載の通りである。

監 査 報 告 書

公益社団法人 物理探査学会

会長 山中 浩明 殿

平成 30 年 4 月 12 日

公益社団法人 物理探査学会

監 事 相澤隆生 

監 事 西田大介 

私たちは、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの平成 29 年度における業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及び内容

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他重要な会議に出席し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益状況を全ての重要な点において適正に表示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は事実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以 上

第 2 号議案:平成 30 年度・31 年度役員選任の件

物理探査学会規則第 4 章に基づき、役員（理事及び監事）選挙の公示を決議し、平成 29 年 12 月 15 日～平成 30 年 1 月 30 日の間、役員候補者の公募を実施致しました。その結果、定数の理事 20 名、監事 2 名に対して下記のとおり理事 20 名、監事 2 名の推薦があり、役員候補者選考委員会による資格審査を経て全員が役員候補者となりました。本総会では、候補者の理事、監事への選任についてそれぞれお諮りします。なお、選任された役員の任期は平成 32 年度の通常総会において次期役員が選任されるまでの 2 年間となります。

平成 30 年度，31 年度役員候補者一覧

会 務	氏 名	所 属 等	備 考
理事候補	相澤 隆生	サンコーコンサルタント株式会社	新任
	荒井 英一	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	重任
	大熊 茂雄	(国研)産業技術総合研究所	重任
	大澤 理	国際石油開発帝石株式会社	重任
	小田 義也	首都大学東京	重任
	岸本 宗丸	日鉄鉱コンサルタント株式会社	重任
	黒田清一郎	(国研)農業機構農村工学研究所	重任
	後藤 忠徳	京都大学	新任
	荘司 泰敬	応用地質株式会社	新任
	鈴木 敬一	川崎地質株式会社	重任
	鈴木 浩一	(一財)電力中央研究所	重任
	田中 智之	株式会社地球科学総合研究所	重任
	千葉 昭彦	住鉱資源開発株式会社	重任
	松島 潤	東京大学	重任
	三木 茂	基礎地盤コンサルタント株式会社	重任
	光畑 裕司	(国研)産業技術総合研究所	重任
	山中 浩明	東京工業大学	重任
	山根 照真	石油資源開発株式会社	新任
	山本 英和	岩手大学	重任
	渡辺 俊樹	名古屋大学	重任
監事候補	大西 正純	株式会社ジオシス	新任
	西田 大介	西田公認会計士事務所(公認会計士・税理士)	重任

平成30年度事業計画

I. 平成30年度事業計画

平成30年度は、これまで実施してきた研究開発奨励促進事業、探査技術の普及促進事業、広報活動、研究活動及び表彰等の事業を継続・発展させるとともに、会員へのサービスの拡大並びに一般社会への貢献にこれまで以上に力を注いで学会活動の充実を図ります。特に、平成30年度は創立70周年にあたり、その記念事業と第13回国際シンポジウムを開催し、それらの中で一般公開講演等を企画するなどして物理探査技術のさらなる普及促進、一般社会への貢献活動等にも注力していきます。

1. 学会事業活動

[1] 研究発表会の開催

物理探査学に係る研究開発の奨励促進を図るために以下の事業を実施する。

(1) 第138回学術講演会

- ・開催日 平成30年5月27日(日)～5月29日(火)
- ・開催場所 早稲田大学 国際会議場(東京)

平成30年度は物理探査学会の70周年に当たるため、期間中の5月28日に記念式典等も行う。

(2) 第139回学術講演会

- ・開催日 平成30年10月22日(月)～10月24日(水)
- ・開催場所 富山国際会議場(富山)

(3) 第13回国際シンポジウム

- ・開催日 平成30年11月12日(月)～11月14日(水)
- ・開催場所 オリンピック記念青少年センター(東京)

[2] 会誌、書籍の編集発行等の事業

(1) 和文会誌発刊

和文誌「物理探査」は平成29年1月から電子版に移行した。会員は、-J-Stageから論文が閲覧できる。また、少数部数ではあるが昨年度1月から今年度12月末までの論文をまとめた冊子を発行し、希望者には有償で販売する。

(2) 英文会誌発刊

豪州物理探査学会(ASEG)・韓国物理探査学会(KSEG)との共同で出版する英文誌「Exploration Geophysics」について、電子版を4号発行する。

(3) 技術資料等の頒布

既存の以下の技術資料等の出版物を継続して頒布する。

- ・旧版物理探査適用の手引き(英文)
- ・会誌「物理探査」DVD(第1巻～第60巻)
- ・学術講演会論文集DVD(第43回～第118回)
- ・国際シンポジウム論文集DVD(第1回～第8回)
- ・学術講演会論文集(冊子, CD)
- ・地下を診る技術~驚異の物理探査
- ・物理探査ハンドブック増補改訂版

[3] 研究開発、調査、コンソーシアム活動等の事業

(1) 研究会活動

・ドローン物理探査研究会では、ドローン技術に関する講演会などを開催する。
また、当期年度内に地盤探査研究会、電気探査研究会ならびに地震防災研究会活動を積極的に行う。

(2) 研究委員会活動

- ・強震動地盤モデル作成を対象とした物理探査成果書式、地盤モデルデータ構造検討委員会において、関連する物理探査成果の書式化、三次元地盤モデルの書式化の検討を行う。
- ・PS 検層技術委員会において、PS 検層の成果品の品質向上、および報告書の標準化について検討する。

[4] 講座、セミナーの開催、関連学協会との協力等の事業

(1) 物理探査セミナー

- ・開催日 平成 30 年 7 月 3 日～5 日を予定
- ・開催場所 全水道会館

(2) ワンデーセミナー

- ・開催日 平成 31 年 2 月上旬を予定
- ・開催場所 首都圏

(3) キャンパスビジット

以下の 2 回の開催を予定

- ① 北海道大学工学部 平成 30 年 6 月 25 日
- ② 富山大学 平成 30 年 7 月下旬

(4) 関連学協会との連携・協力

① 国内関連学協会

(公社)日本地球惑星科学連合, (一社)資源・素材学会, (一社)日本リモートセンシング学会, 日本地熱学会, (公社)日本地震学会, (一社)日本応用地質学会, (公社)地盤工学会, (公社)計測自動制御学会, (公社)土木学会, (一社)全国地質調査業協会連合会, 石油技術協会と講演会等で相互に協力する。

② 日本地球惑星科学連合大会

日本地球惑星連合大会 JpGU-AGU Joint Meeting 2018 では、「空中からの地球計測とモニタリング」「浅部物理探査が目指す新しい展開」および「地震波伝播：理論と応用」という 3 つのセッションを企画した。また、学協会デスクスペースでのブース展示を行う。

③ 他の分野との交流を活性化して、物理探査技術の広い分野への活用・促進のための試みとして、農業農村工学大会において、物理探査技術の最新動向と農業農村工学分野への展開に関する企画セッションを設ける。

④ 海外関連学会

下記関連国際学会の講演会・年次総会に参加して国際交流を深めると共に、国際レベルの物理探査技術を会誌、ホームページ等を通じて紹介する。

- ・欧州物理探査学会 (EAGE)
- ・米国物理探査学会 (SEG)
- ・環境土木物理探査学会 (EEGS)
- ・豪州物理探査学会 (ASEG)
- ・韓国物理探査学会 (KSEG)
- ・中国石油物理探査学会 (SPG China)
- ・ベトナム物理探査学会 (VGA)
- ・インドネシア物理探査学会 (HAGI)

⑤ SEG および EAGE 教育プログラムの開催支援

海外の関連学会 SEG および EAGE が主催し、日本国内で実施する下記の物理探査技術の教育・普及活動に対して本年度も参加者の募集、会場の運営等、その支援を行う。

- ・SEG 2018 Distinguished Instructor Short Course (DISC)

演 題： Seismic Attribute as the Framework for Data Integration throughout the Oilfield Life Cycle

講 師：Kurt J. Marfurt (University of Oklahoma)

日 時：平成 30 年 9 月 3 日(月)

場 所：未定

- ・SEG 2018 Honorary Lecture (HL)

演 題：Dense sampling in marine seismic: Efficiency in acquisition without compromising data quality

講 師：Mazin Farouke (PGS Geophysical)

日 時：平成 30 年 4 月 24 日(火)

場 所：国際石油開発帝石株式会社・34 階会議室

(5) 技術士継続教育活動

平成 30 年度も関係 7 学協会と連携して生涯学習支援システムの共同運営を継続し、会員の技術士継続教育活動をサポートする。

[5] 物理探査に係る広報活動事業

(1) 物理探査ニュース

「物理探査ニュース」No. 38 から No. 41 の 4 巻の発行を行い、会員に配布するとともに物理探査に関係する機関に広く無償で配布する。また、一般向けに 2018 年ハイライト（総集編）の発行を行う。

(2) ホームページ

学会ホームページをさらに見易くかつ親しみやすいものへ更新し、WEB を通じて広報に係る活動を実施する。

[6] 物理探査学に係る研究、活動に対する表彰事業

平成 30 年度において、以下の表彰等を行う。

(1) 物理探査学会賞・論文業績賞

① 論文賞、事例研究賞

会誌に発表された論説・論文・短報の中から特に優秀なものに物理探査学会論文賞を、ケーススタディ・技術報告の中から特に優秀なものに同事例研究賞を、また、探査技術の進歩に寄与あるいは著しい探査成果をあげた業績の中から特に優秀なものに同業績賞を授与する。

② 物理探査学会奨励賞

若手会員の活動を評価・支援するべく奨励賞を授与する。

(2) 学術講演会等における物理探査学会賞・優秀発表賞

学術講演会等の活性化と技術の向上を図るため、最優秀発表賞と若手研究者、技術者(35 歳以下)を対象とした優秀発表賞を授与する。

(2) 物理探査学会賞・学術業績賞

探査技術の進歩に寄与し、あるいは著しい探査結果を上げた業績の中から特に優秀な者に授与する。

(4) 物理探査学会賞・運営功績賞

運営発展に特段の功績があった会員あるいは団体に運営功績賞を授与する。

(5) 永年在籍会員表彰

在籍 30 年かつ満 70 歳を超える正会員，および在籍 30 年に達した賛助会員と 50 年に達した賛助会員に授与する。

(6) 名誉会員表彰

満 70 歳を超え会長の経験者または物理探査に関する学術，技術の発展に大きな貢献があった会員，あるいは会員歴 30 年以上でかつ 10 年以上本学会の役員を勤め学会の運営発展，学術・技術貢献，学会発展に貢献があった会員に授与する。

[7] その他目的を達成するために必要な事業

学会の活性化を図るため継続して学会業務の I T 化を推進すると共に，学会ホームページの維持管理を行う。

2. 学会の経営・運営に関する会議の開催

[1] 通常総会

平成 30 年 5 月 29 日(火)，東京，早稲田大学国際会議場井深大ホールにて開催する。

[2] 理事会

平成 30 年度中に 4 回開催する。

[3] 運営幹事会

平成 30 年度中に必要に応じて開催する。

II. 平成 30 年度収支予算

公益社団法人 物理探査学会 平成30年度 収支予算書

(単位:円)

	公益目的 事業会計	法人会計	合計
科 目			
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,100	0	2,100
受取会費	8,919,600	3,146,400	12,066,000
正会員会費収入	4,719,600	3,146,400	7,866,000
賛助会員会費収	4,200,000	0	4,200,000
事業収益	17,839,300	0	17,839,300
開催事業収入	15,577,800	0	15,577,800
受取投稿料	350,000	0	350,000
頒布事業収入	1,911,500	0	1,911,500
受取補助金	390,000	0	390,000
受取寄付金	1,670,000	0	1,670,000
雑収入	140,000	0	140,000
経常収益計	28,961,000	3,146,400	32,107,400
(2) 経常費用			
事業費	28,961,000	0	28,961,000
給料手当	4,655,262	0	4,655,262
臨時雇賃金	430,000	0	430,000
退職給付費用	366,316	0	366,316
福利厚生費	381,579	0	381,579
旅交通費	1,944,473	0	1,944,473
会議費	211,107	0	211,107
通信運搬費	565,310	0	565,310
消耗品費	344,683	0	344,683
印刷製本費	2,965,580	0	2,965,580
光熱水料費	292,356	0	292,356
賃借料	7,978,600	0	7,978,600
保険料	7,631	0	7,631
諸謝金	490,000	0	490,000
出版物原価	1,038,066	0	1,038,066
支払負担金	79,500	0	79,500
利息受取源泉税	0	0	0
表彰品費	250,800	0	250,800
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
支払奨励金	0	0	0
支払手数料	203,894	0	203,894
租税公課	193,200	0	193,200
委託費	6,455,449	0	6,455,449
雑費	107,194	0	107,194
管理費	0	3,146,400	3,146,400
給料手当	0	1,444,738	1,444,738
退職給付費用	0	113,684	113,684
福利厚生費	0	118,421	118,421
旅交通費	0	125,527	125,527
会議費	0	37,893	37,893
通信運搬費	0	37,893	37,893
消耗品費	0	66,317	66,317
印刷製本費	0	28,420	28,420
光熱水料費	0	67,644	67,644
賃借料	0	862,600	862,600
保険料	0	2,369	2,369
支払手数料	0	52,106	52,106
支払負担金	0	22,500	22,500
委託費	0	142,105	142,105
雑費	0	24,183	24,183
経常費用計	28,961,000	3,146,400	32,107,400
評価損益調整前当期増減額	0	0	0

平成 29 年度 物理探査学会表彰

第 58 回（平成 29 年度）物理探査学会賞

(1) 論文業績賞

論文賞

- ・受賞者：神宮司 元治
- ・対象論文：Motoharu Jinguuji, Selcuk Toprak (2017): A case study of liquefaction risk analysis based on the thickness and depth of the liquefaction layer using CPT and electric resistivity data in the Hinode area, Itako City, Ibaraki Prefecture, Japan, Exploration Geophysics, Vol. 48 No. 1, 28-36.

事例研究賞

- ・受賞者：青木 直史, 新部 貴夫, 佐藤 馨, 寺西 陽祐, 三浦 卓也, 持永 尚子, 中田 守
- ・対象論文：青木 直史, 新部 貴夫, 佐藤 馨, 寺西 陽祐, 三浦 卓也, 持永 尚子, 原 彰男, 熊野 裕介, 中田 守, 福田 真人, 毛利 拓治 (2017): 山川地熱地域における 3 次元弾性波探査フィールド実証実験, 物理探査 70 巻, 124-141.

奨励賞

- ・受賞者：井上 敬資
- ・対象論文：Keisuke Inoue, Hiroomi Nakazato, Tomijiro Kubota, Mutsuo Takeuchi, Yoshihiro Sugimoto, Hee Joon Kim, Koji Furue (2017): Three-dimensional inversion of in-line resistivity data for monitoring a groundwater recharge experiment in a pyroclastic plateau, Exploration Geophysics, Vol. 48, No. 3, 332-343.

(2) 優秀発表賞

最優秀発表賞

① 第 136 回春季学術講演会（早稲田大学）

城森 明（ネオサイエンス）

対象：城森 明（ネオサイエンス），佐々木 裕（TANSA），遠藤 仁（TechnoImaging），毛利拓治（JOGMEC），SEGJ 空中物理探査研究委員会「地熱資源調査のための空中時間領域電磁探査の解析手法の検討」

② 第 137 回秋季学術講演会（東京工業大学）

齋藤 秀樹（応用地質）

対象：齋藤 秀樹・青池 邦夫（応用地質），八嶋 厚（岐阜大），山崎 充（中日本ハイウェイ・エンジニア名古屋），曾根 好徳（名古屋大）「共振現象を利用したグラウンドアンカー残存引張り力の非破壊評価法」

優秀発表賞

① 第 136 回春季学術講演会（早稲田大学）

・口頭発表

Andajani Rezkia Dewi（九州大学）

対象：Andajani Rezkia Dewi・池田 達紀・辻 健（九州大学）「Window controlled CMP Crosscorrelation Analysis for Surface Wave in Geothermal Field」

石須 慶一（京都大学）

対象：石須 慶一・後藤 忠徳（京都大学），Vachiratienchai Chatchai（Curl-E），

Siripunvaraporn Weerachai(マヒドン大学), 笠谷 貴史・岩本 久則(JAMSTEC)

「FCM クラスタリング制約項を用いた 2 次元曳航式海底電気探査法逆解析」

池田 達紀(九州大学)

対象: 池田 達紀・辻 健(九州大学), 中務 真志・伴 英明・加藤 文人(JOGMEC), Worth Kyle(PTRC), White Don・Roberts Brian(GSC) 「単一のアクロス震源を利用した Aquistore CCS サイトにおける表面波位相速度の空間分布とモニタリング」

・ポスター発表

大田 優介(京都大学)

対象: 大田 優介・後藤 忠徳・小池 克明・柏谷 公希・林 為人(京都大学), 多田井 修(マリンワークジャパン), 笠谷 貴史・金松 敏也・町山 栄章(海洋研究開発機構) 「海底熱水活動域岩石サンプルの比抵抗特性と化学組成の関係性」

② 第 137 回秋季学術講演会 (東京工業大学)

・口頭発表

大田 優介(京都大学)

対象: 大田 優介・後藤 忠徳・小池 克明・柏谷 公希・林 為人(京都大学), 多田井 修(マリンワークジャパン), 笠谷 貴史・金松 敏也・町山 栄章(海洋研究開発機構) 「海底熱水活動域岩石サンプルの電気比抵抗特性と鉱物種との関連性」

草茅 太郎(川崎地質)

対象: 草茅 太郎(川崎地質), 片山 政弘(熊谷組), 森島 邦博(名古屋大学), 成田 浩司(サイエンスインパクト), 鈴木 敬一・柘植 孝・金沢 淳(川崎地質), 北川 暢子・西尾 晃・久野 光慧・眞部 祐太(名古屋大学) 「トンネル内部からの上部地盤の宇宙線ミュオン粒子探査の試み」

CHHUN CHANMALY(九州大学大学院)

対象: CHHUN CHANMALY(九州大学大学院), Kioka Arata(インスブルック大学), Jia Jihui(九州大学 I2CNER), 辻 健(九州大学) 「Hydrate and Gas reservoirs in the Kumano Forearc Basin of the Nankai Trough: Insights from Automatic Seismic Velocity Picking」

岡本 京祐(産総研)

対象: 岡本 京祐・易 利・浅沼 宏(産総研) 「震源クラスタ解析と散乱波解析による地熱貯留層への涵養注水時の微小地震発生要因の考察」

・ポスター発表

江戸 将寿(東海大学)

対象: 江戸 将寿・馬場 久紀(東海大・院・海洋学研), 大熊 茂雄・住田 達哉・宮川 歩夢(産総研), 「横須賀市における重力探査 - 三浦半島断層群付近の地下構造の推定」

(3) 学会業績賞

学術業績賞

神宮司 元治(産総研)

水道管の腐食リスクを推定可能な高周波交流電気探査装置の開発に関する業績

運営功績賞

三木 茂(基礎地盤コンサルタンツ)

物理探査電子納品要領（原案）の完成による業績

(4) 永年貢献表彰

・永年在籍会員表彰

① 在籍 30 年以上，満 70 歳以上

仁科 利晴，千廣 一治，佐伯 裕治，中塚 正，鈴木 克久，西澤 修，伊藤 信一，
窪田 亮，野口 静雄，内田 真人，佐藤 信一，五江 渕 通，星沢 巡，横田 裕，
石戸 経士

② 50 年在籍賛助会員

三菱マテリアルテクノ株式会社，伊藤忠テクノソリューションズ株式会社，中央開発株式
会社，JX 金属探開株式会社，日鉄鉱コンサルタント株式会社

④ 30 年在籍賛助会員

株式会社 NTT データ CCS，モニー物探株式会社

・名誉会員表彰 なし

・功労会員表彰（70 周年記念行事で表彰）

年齢 55 歳以上，10 年以上の理事・委員長歴／15 年以上の委員歴

大西 正純，堀田 淳，山口 和雄，鈴木 浩一，西木 司，村田 泰章，山中 浩明，
高市 和義，大澤 理，田中 智之，山根 照真，木口 努，渡辺 俊樹

以上